

# 「ペスト」ってご存じですか？

公益社団法人 東京都ペストコントロール協会  
副会長 元木 貢

ペストは英語では「やっかい者」という意味で、「ヒトに危害を加える生物」を指します。それらを防除して人の健康と財産を守るのが私たちの仕事です。今回の新型コロナウイルスも対象となります。明治になって開国とともにコレラやペストなどの伝染病が日本に持ち込まれ猛威を振りました。この対策として新政府は明治30年に伝染病予防法を制定しました。

第二次大戦後にはシラミが媒介する発疹チフスにより3万2千人あまりが罹患、3,351人が死亡しています。GHQは現在の価値で500億円の予算を投じて公衆衛生技師（8,700名）と衛生班（36万人）を編成、防疫にあたりました。1998年（平成10年）に感染症法が制定されたことにより、伝染病予防法は翌年4月1日に廃止されました。この時、市町村の衛生班や殺虫剤や殺鼠剤、防除器具の備蓄も廃止され、保健所も半数に統合されてしまいました。

そこで、ペストコントロール協会では、1999年より全国の都道府県協会に感染症予防衛生隊を設置して、感染症対策に備えています。これまでに各地で発生した高病原性鳥インフルエンザや豚コレラの車両消毒、東日本大震災時のハエ駆除、代々木公園で発生したデング熱の蚊駆除、各地で発生した水害時の防疫作業に出動しています。今回の新型コロナウイルスでは、政府の要請により武漢から帰国した180人が一時滞在した三日月ホテル、クルーズ船の乗客乗員を収容した税務大学校の消毒などを実施しました。また、東京都や消防庁と協定を結び、救急車や軽症者の滞在ホテルの消毒作業に日夜出動しています（東京都ペストコントロール協会のホームページをご参照ください）。新年にあたり1日も早く新型コロナウイルスが終息することを願ってやみません。